

特集	<h1>エネルギー，エネルギー施設</h1>
巻頭言	4 国際船舶の脱炭素の取り組みを例に 高崎 講二 (国研)海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 海技研フェロー、九州大学名誉教授
行政情報	5 国土交通省における環境政策の取り組み 国土交通省 総合政策局 環境政策課
	13 港湾分野のカーボンニュートラル施策 清水 光治 国土交通省 港湾局 産業港湾課 CNP 推進室 課長補佐
特集技術報文	18 脱炭素社会実現に向けた関西電力の挑戦 別木 苑果 関西電力㈱ エネルギー・環境企画室 エネルギー企画グループ
	24 複雑な海底地盤への挑戦 北九州響灘洋上ウインドファーム建設工事 風車基礎・海洋工事 本村 貴則 五洋建設㈱ 土木部門 洋上風力事業本部 プロジェクト部 プロジェクトグループ長 宇野 慎一 五洋建設㈱ 土木部門 洋上風力事業本部 プロジェクト部 担当課長 小田 圭祐 五洋建設㈱ 土木部門 洋上風力事業本部 浮体プロジェクト部 係長
	29 20 t級バッテリー式油圧ショベルの建設工事導入と運用評価 複数工事における稼働および充電特性の実証 田中 吹樹 ㈱大林組 ロボティクス生産本部 生産技術第三部 カーボンニュートラル課 土井 暁 ㈱大林組 ロボティクス生産本部 生産技術第三部 カーボンニュートラル課 課長 桐山 茂雄 ㈱大林組 東京本店 成田C 滑走路南JV 工事事務所 工事課長
	34 「創・蓄・省・賢（スマート）利用」による 廃棄物エネルギーの地産地消向上と低炭素化の実現 エネルギーの地産地消プロジェクト 竹中 穂波 武蔵野市都市整備部 道路課 主査
	39 千手発電所更新工事における水車発電機取替および 鉄管弁単管化の施工事例 長谷川優貴 東日本旅客鉄道㈱ 電気SIO プロジェクト推進部エネルギーユニット エネルギーサブライグループ 主任 新井 祐太 東日本旅客鉄道㈱ 上信越建設 PMO 上信越ユニット (新潟・信濃川) 主任 小室 友樹 東日本旅客鉄道㈱ 上信越建設 PMO 上信越ユニット (駅地域開発) 指導係
	45 再エネ利用拡大と災害対応力向上に向けた 基地局電源設備の実証 エネルギー利用効率向上と災害対応力の強化 佐々木 健 KDDI ㈱ コア技術統括本部 アクセス技術本部 RAN システム設計部 エキスパート 高嶋 亨 KDDI ㈱ コア技術統括本部 アクセス技術本部 RAN システム設計部 エキスパート 今村 元紀 KDDI ㈱ コア技術統括本部 技術企画本部 エネルギー戦略室 企画グループリーダー
	50 CO <sub>2</sub> 吸収コンクリートの開発と普及展開 CO <sub>2</sub> -SUICOM への DAC (Direct Air Capture) 技術導入に向けて 取達 剛 鹿島建設㈱ 技術研究所 土木材料グループ 上席研究員 坂井 吾郎 鹿島建設㈱ 技術研究所 主席研究員
	56 使用済みの作動油を再生する技術を開発 森 健介 日立建機㈱ 部品サービスビジネスユニット 再生事業部 サーキュラーエコノミー推進部 企画グループ
	63 エネルギー需給一体型管理システムの開発・実証 T-Green BEMS RE Optimizer 清水 博之 大成建設㈱ クリーンエネルギー・環境事業推進本部 ZEB・スマートコミュニティ部 次長

交流のひろば	72	建設現場における「可動産」の可能性 牽引式オフグリッド型モバイルハウスの開発と適用事例 廣里 成隆 (株)オフグリッドフィールド 代表取締役社長, (株)竹中工務店 経営企画室新規事業推進部より出向
ずいそう	75	旅のかたち 藤島 俊一 日本海洋調査技術企画 代表
	77	遅咲きの趣味 (キャンプ) 高田 純 福井コンピュータ(株) 中四国営業所 所長
部会報告	79	(株)流機エンジニアリングつくばテクノセンター見学会 報告 機械部会 基礎工事用機械技術委員会
CMI 報告	83	環境配慮型コンクリート活用に関する取り組み 大畑 俊輔 (一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 研究第二部 副主幹 小野 秀一 (一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 研究第二部 部長
	88	新工法紹介 機関誌編集委員会
	89	新機種紹介 機関誌編集委員会
統計	90	令和8年度 公共事業関係予算 機関誌編集委員会
	99	建設工事受注額・建設機械受注額の推移 機関誌編集委員会
	100	行事一覧 (2026年4月)
	104	編集後記 (早矢仕・那須野)

◇表紙写真説明◇

北九州響灘洋上ウインドファーム建設工事 風車基礎・海洋工事

写真提供：五洋建設(株)・ひびきウインドエナジー(株)

北九州響灘洋上ウインドファーム建設工事では、1,600t吊SEP船「CP-16001」を使用し、全25基の風車を約110日間かけて据え付けた。風車部材はタワー、ナセル、ブレードの順に据え付け、1基あたりの据付時間は約30時間を要した。据付完了後、約5ヶ月かけて試運転を行い、2026年3月に営業運転を開始した。写真は、ジャケットの上に風車を据え付けている様子である。

2026年(令和8年)6月号PR目次  
【ア】  
ヴィルトゲン・ジャパン(株) 表紙4  
【カ】  
コバルコ建機日本(株) 表紙2

【ク】  
大和機工(株) 後付3  
デンヨー(株) 後付5

【マ】  
マシンケアテック(株) 後付2  
マルマテクニカ(株) 後付6  
三笠産業(株) 後付1  
(株)三井三池製作所 表紙3

【ヤ】  
吉永機械(株) 後付3